



ウガンダ  
森下博史さん(67)  
熊本県益城町出身

## アフリカの真珠に好感

2025年4月、国際協力機構（JICA）海外協力隊員の電気・電子機器・設備隊員としてウガンダへ赴任した。首都カンパラで約1カ月の研修後、ホイマ市のセントサイモン職業訓練校へ着任した。

以来約11カ月の間、座学授業の分担、実習授業の補助、校内にある設備機器の修理・工事補助などに当たっている。そして、今取り



PLC技術者を養成するため、生徒を指導する森下さん(右)

組んでいるのが新しい授業科目「PLC講座」の導入である。PLCとは工場や大規模ビルなどの生産設備や空調

周辺の機器やソフトウェア、パソコンが必要となる。それらの課題を一つずつ片付けながら、現在ようやく職員向けの指導を始めたところである。クリアしなければならぬ課題はまだ多いが、帰任まで

には何とか必要な機材をそろえ、指導を完結させたいと考えている。ウガンダは赤道直下にある熱帯の国だが、標高1200m前後の高地に位置するため、昼間の最高気温は32度程度、明け方は20度以下となる日も多く、日本の夏よりはずっと過ごしやすい。雨期と乾期はあるものの、年間の降水量は多めで豊かな緑も広がっている。かつて英国首相のチャールズがウガンダを「アフリカの真珠」と評したそうだが的を射た評である。温和な気候で作物もよく育つせいか、人々はみんな温和で明るく、親しみやすい。通りで子どもたちに手を上げてあいさつをするとみんな笑顔で、あるいは、はにかみながら応えてくれる。各種統計などによると、アフリカの中でもウガンダの貧しさは際立っているが、人々は現状に負けることなく、懸命によく働く。少し時間にルーズな点はあるが、私はこの国が大好きである。

給排水設備などを自動制御する装置。日本では実用化され数十年になるがウガンダでの普及はこれからである。産業界からは私の活動を通じてPLC技術者を育成・養成してほしいとの期待が寄せられている。これは職業訓練校でも最初に要望されたことであった。PLCを使ったシステムを動かすためには、PLC本体をはじめ、さまざまな周辺機器やソフトウェア、パソコンが必要となる。それらの課題を一つずつ片付けながら、現在ようやく職員向けの指導を始めたところである。クリアしなければならぬ課題はまだ多いが、帰任までには何とか必要な機材をそろえ、指導を完結させたいと考えている。ウガンダは赤道直下にある熱帯の国だが、標高1200m前後の高地に位置するため、昼間の最高気温は32度程度、明け方は20度以下となる日も多く、日本の夏よりはずっと過ごしやすい。雨期と乾期はあるものの、年間の降水量は多めで豊かな緑も広がっている。かつて英国首相のチャールズがウガンダを「アフリカの真珠」と評したそうだが的を射た評である。温和な気候で作物もよく育つせいか、人々はみんな温和で明るく、親しみやすい。通りで子どもたちに手を上げてあいさつをするとみんな笑顔で、あるいは、はにかみながら応えてくれる。各種統計などによると、アフリカの中でもウガンダの貧しさは際立っているが、人々は現状に負けることなく、懸命によく働く。少し時間にルーズな点はあるが、私はこの国が大好きである。